

草木塔の心

ゆうきの里・さんさん 遠藤周次氏

今の経済最優先の競争社会における反省から、自然と調和した人間社会づくりをめざす「自然と人間の共生」の想いが展開されています。そのことで注目されてきたのが「草木塔(そうもくとう)」の存在です。

今のところ、全国では160基以上あるといわれているが、地下に埋もれたり、洪水で流されたり、まだまだ未発見のものがあると思われる。現在見つけているもののうち、山形県内には120基、特に江戸時代のもは34基あって、そのうち置賜地方には32基もあります。石塔には「草木塔」のほか「草木供養(養)塔」「草木国土悉皆成仏」等と刻まれ、日本で一番古いものでは、上杉鷹山公の時代(1780年)で、米沢市入田沢塩地平にあります。

高畠町には、上和田太田地区に高さ1メートルほどの凝灰岩に「草木塔」(写真)と刻まれた石碑が建っています。(他に2基と類似塔1基)。碑面には、明治九年八月八日、入會村世話人三名の氏名と石工の氏名が記してあり、旧江戸街道沿いで入會(いりあい)地の境界とされているところにあります。入會というのは、地域住民たちが特定の権利をもって、一定の範囲の土地を共同利用する方法をいいます。

昔のくらしは、燃料に薪、木炭を用い、衣食住には、草木を切り離すことはできず、山や野原や沢等の草木に依存しておりました。特に、薪、山菜、家畜の草地として利用する権利をもつことが入會権といわれて現在も続いているところがあります。そんな時は、その土地で生産される草木に感謝をする気持ちと豊かな資源が長く続くことへの願いがあったことは言うまでもありません。また、危険な山仕事と作業の安全を願いながら自然に対する畏敬の念を込めて広く「自然への感謝」のしるしを考えたのではないかと思います。

更に、建立日の八月八日は大日如来の縁日であり、お盆の墓参りの時に祖先の霊を供養する「祖先供養」の意味も加わっているものと思われるかもしれませんが、いずれにしても建立目的の深い深い先人の思いを汲み取ることができます。草や木をはじめすべての物のいのちをいただき、人間自身のいのちを育てていることへの感謝を込めた「いただきます」と言う日本食の礼儀にはすごいものを感じます。私達の祖先達が、自然の恵みへの感謝と自然崇拝をしてきた「あかし」としての草木塔ではないかとも思われます。

今、地球規模での環境破壊が急速にすすみ、人類の生存さえも危ぶまれている時、すべてのいのちをいただくことで、人類のいのちが連鎖し続ける持続可能な社会づくりをめざすには、草木成仏の思想と自然に神が宿る畏敬と土着の思想を失ってはならないと思います。

ゆうきの里・さんさん / <http://www.takahata.or.jp/user/sansan>



市町村から

おぐに鍋まつり 小国町

地域産物を使った創作鍋コンテストです。来場者と専門家による審査によって「鍋將軍」「鍋の局」「鍋奉行」が決定します。

アトラクションとして、「子供落語」「よさこいソーラン」もあります。

- 日時：平成19年11月24日(土)開場11:30 スタート12:00
- 場所：「ふれあいの家」小国町大字岩井沢863
- 参加費：入場は無料。
- 各出店者の鍋は、一杯200円～500円程度で販売
- 問合せ：小国町商工会鍋まつり実行委員会
TEL0238-62-4146 FAX0238-62-4156



もちつき体験 山形市

この秋に収穫したての新米をふかし、臼と杵を使って本格的な餅つき体験をしませんか? エゴマ餅など、食べ方も紹介します。

- 日時：平成19年11月～12月上旬
- 場所：山形市下楯沢 スローライフ小さな農家
- 参加費：1,000円
- 予約：3日前まで要予約
- 連絡先：
TEL023-643-0271(峯田)
http://blog.livedoor.jp/mineta_farm/



桜新品種の 選抜内覧会 上山市

- 日時：平成20年4月10日～4月30日
- 場所予約：上山温泉葉山「寒河江屋旅館」TEL023-672-0170
- 内容：JFC石井農場が育成中の桜新品種 非売品
- 対象：寒河江屋旅館宿泊者

寒河江屋旅館 さくらの宴 タイムスケジュール

年 末	
1月1日～30日	彩久作・初夢吹雪・他
2月1日～15日	彩久作・イルミナシオン・啓翁桜
2月16日～28日	名称未定種
3月1日～15日	ハシキーム・希望
3月16日～31日	美和・晃司
4月1日～15日	清桜・愛久作 八重久作・華桜

気候条件により一部変更することがあります。
*JFC石井農場 <http://www.prunus.net>